

第2回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日時：平成28年8月5日（金） 10時00分～12時00分

場所：湖西市民活動センター2階大会議室

出席者：18人

会長	丸谷 由行	湖西市副市長
副会長	片山 彰宏	湖西市企画部長
座長	伊豆原 浩二	愛知工業大学 客員教授
委員	新村 俊明（代理）	遠州鉄道株式会社 運輸業務部長
委員	大久保公雄	浜松バス株式会社 支配人
委員	杉山 浩一	遠鉄タクシー株式会社 営業部長
委員	堀田 勝之	天竜浜名湖鉄道株式会社 常務取締役
委員	鈴木 成幸	中部運輸局静岡運輸支局 首席運輸企画専門官
委員	田所奈保子（代理）	静岡県 交通基盤部 地域交通課長
委員	良知 孝悦	静岡県 浜松土木事務所 維持管理課長
委員	竹島 清一	湖西市自治会連合会 会長
委員	田内 清之	湖西市老人クラブ連合会 会長
委員	土屋 正征	湖西市社会福祉協議会 会長
委員	内山 安弘	新居町商工会 事務局長
委員	堀尾 典男	市民委員
委員	小笠原 昌之	市民委員
委員	山本 渉	湖西市 健康福祉部長
委員	青島 一郎	湖西市 都市整備部長
事務局	小林 良治	(株)国際開発コンサルタント
事務局	渡辺 一真	(株)国際開発コンサルタント
事務局	小林 利幸	湖西市 企画部 市民協働課長
事務局	石田 裕之	湖西市 企画部 市民協働課長代理
事務局	佐原 敬	湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係長
事務局	村松 慶太	湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係

配付資料：会議次第、名簿、コーちゃんバススタンプラリー台紙、東三河50円バスチラシ

1 開会

2 会長挨拶

3 委員委嘱

4 報告事項

① 湖西市地域公共交通網形成計画策定のスケジュールについて

<事務局>

・資料1の「湖西市地域公共交通網形成計画」の策定スケジュールに基づき、スケジュール、データについて説明。

<委員>

・平成28年度が、湖西市地域公共交通基本計画の見直しになっていると思うが、この計画を含めて見直しということか。

<事務局>

・今回の、公共交通網形成計画策定で計画を見直し、平成29年度～平成33年度の計画を策定する予定です。

<事務局>

・交通基本計画が今年で終わります。法律が変わり、まちづくりを含めた計画を策定することになっており、今回は、それを踏まえて新しい計画を策定します。

<座長>

・第3回、第4回で計画を策定していくということですが、一つお願いがあります。

できれば第3回では、あり方の検討だけでなく、網形成計画ではこんなことをやるというのを示していただきたい。

活性化法が改正され、広域的なネットワークを考えて計画を策定しなさいということになりました。簡単に言えば、「周囲の町や他の交通機関などとも連携しなさい」ということです。第3回では、それを踏まえて、皆様にご理解頂ける形で進めていただけるとよいと思います。

<委員>

・資料1の1ページの、バス事業の実態整理で、運行経費、収支状況とあるが、資料1には入っていないがどうなっているのか。

<事務局>

・実は、データは作成しましたが、不具合がありまして、今回は控えさせていただきました。

今回、資料1では、湖西市の概況等のデータを示させていただきましたが、課題の抽出までは至っておりません、データを十分把握した上で課題抽出し、収支状況などのデータも含めて、今後お示しさせていただきます。

5 協議事項

協議事項①「白須賀鷺津線」のバス停名称変更について

<事務局>

・協議事項の前にご説明させていただきます。先程、網形成計画を策定させていただくと申しました。今回ご協議いただくのは、短期的に今見直さないと利用者が増やせないという、即効性のある改善について協議いただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

<事務局>

・資料2に基づき、バス停名称変更について説明

<委員>

・地域の了承は得ていますか。

<事務局>

・得ております。

<座長>

・今、このような声が上がってくるということは、町内の方がようやく気付いてくれた、よく言えばコちゃんバスが認知されてきた、ということかと思えます。このような声が、今、上がるということをよく考えて、地域の人によく周知をして欲しいと思えます。

協議事項②「白須賀鷺津線」「知波田鷺津線」「岡崎鷺津線」の運行計画の変更について

<事務局>

・資料3に基づき、運行計画の変更について説明。

<委員>

・既存のバス停の鷺津中学校、鷺津中学校西の利便性は損なわれませんか。

<事務局>

・現在、既存の路線が集中して入っております。改正後も鷺津循環線と白須賀新居鷺津線が残り、バス停も残ります。現在、鷺津中学校、鷺津中学校西の利用は極めて少なく、住民の利便性は大きく損なわれないと考えています。それ以上に、路線変更による利便性の向上を考えています。

<座長>

・できれば、鷺津中学校、鷺津中学校西の乗降データを示して頂けるとよいと思えます。

<事務局>

・鷺津中学校、鷺津中学校西は月に平均3人程度の利用となっています。

<座長>

・朝の便は鷺津中学校、鷺津中学校西を通るのか、遠鉄ストアのルートを通るのか、この図だと少しわかりにくい。

<事務局>

・朝の便では、鷺津中学校のルートを通りますが、鷺津中学校と鷺津中学校西のバス停は通過で運行します。遠鉄ストアの開店時間からは遠鉄ストアのルートを通ります。

<座長>

・鈴木委員が言うように、朝は通勤のためにこのルートを通る。昼は遠鉄ストアが開店するので、そちらを通すというように、ルートについても、説明し理解してもらう必要があります。

<委員>

・「路線のわかりやすさとの向上」と「遅延や往復にかかる時間の短縮」をして利便性を向上させたのに、乗車人数が減るのがわからない。

<事務局>

・昨年10月にダイヤ改正をしました。今まで、主要な施設を回っていた路線を、短時間で病院や鷺津駅に行ける路線に変更し、便数を増やし、時間も短縮しました。しかし、10月以後の乗車人数は確実に減っております。

利用者からの声や、昨年10月までと、10月以降のバス停での乗車人数を比較しますと、主に、遠鉄ストアで乗降していた利用者が利用しなくなったこと。鷺津循環線を新たに運行し、遠鉄ストアや商業施設への移動手段を確保しておりましたが、乗り継いで移動への抵抗が大きいこと、この2つが、主な原因として分析しています。このことから、今回、早急に改善し利便性の向上と、乗車人数の回復を図りたいと考えています。

<委員>

・利用者の分析をした結果、今回の改正で対策するということですね。わかりました。

<委員>

・私も、遠鉄ストアを通すという改正は評価できると考えます。私は別の視点で、湖西市民が「洋服」を買う場所を選べるということが大きいと思います。

湖西ではサロック、しまむら、パシオスが主な購入場所になると思いますが、遠鉄ストアに行くと言う事はパシオスにもアクセスできるということで、私は皆さんがこちらへ行くのではないかと思いますので、遠鉄ストアに行くのはいいことと思います。

<委員>

・今回の改正をどのように周知するか教えて下さい。

<事務局>

- ・広報こさい、全戸配布、地元の老人クラブ、自治会を通じた説明、紹介を行います。

<委員>

・鷺津地区の懇談会の中で、遠鉄ストア前の道路を改良して欲しいという声が上がっています。参考としてもらいたいが、あの道をバスが入るのは大変ではないか。遠鉄ストアの間の二つの信号で、大変な遅れがでてしまうのではないだろうか。

<事務局>

- ・以前、遠鉄ストア前を全路線が走っており、当時も委員のようなお話がありました。

実際に調査したところ、午後3時以降、確かにバスによる渋滞が発生していましたが、現在は遠州鉄道さんの大型バスから、浜松バスの小型バスになり、圧迫感は解消されております。

あの道は拡幅途中で、バスカットができておりません。現在は道路敷地や遠鉄ストアさんの敷地に置かせていただいているところですが、今後バスカットができれば、そちらへ動かすなど安全を確保していきたいと考えています。

今一度、現場調査しながら、安全確保に関して対処していきたいと考えています。

<座長>

- ・あそこは公安からの許可はおいておりますが、安全確保など、調査をお願いします。
- ・電車の時刻や、病院、買物の時刻など、市民が使いたい時間に合わせると、バスの乗り入れ時刻は、ほぼ同じになってしまう。そこは大変難しいところです。

市民の理解がないと、バスが邪魔であると思われる。市民のためのバス運行ということをご理解いただかなくてはならない。道路状況を考えながら、使い勝手を整理していかなければならないので、運行後の状況もチェックして行ってください。

・資料3について、資料にある「利用者の減少に歯止めをかけるため」ということもわかるが、事務局目線の考えであって、「市民の皆様の利便性を高める」という趣旨でないとならない。

<委員>

・前回の改正は、バス路線の時間の短縮という意味もあったかと思うが、今回は若干厳しいところがあるかと思うが大丈夫か。

<事務局>

- ・運行事業者と確認済みです。

<座長>

・市民の皆様へのPRなど、丁寧に説明してください。先ほどからでたご意見を踏まえて、この協議は承認ということでよろしいでしょうか。

(異議を唱える声なし)

この協議を承認とさせていただきます。

協議事項③「白須賀新居鷺津線」の運行経路の変更について

<事務局>

- ・資料4に基づき経路の変更について説明。

<委員>

- ・変更する区間にバス停はありますか。

<事務局>

- ・ありません。バス停の時間も、変更はありません。

<委員>

- ・新しい交差点に信号ができる予定はあるのか。

<委員>

- ・現在公安委員会と協議中ですが、近い将来、設置の予定です。

<委員>

- ・この交差点についての計画はどうなっているのか。

<副会長>

- ・将来は南へ道路ができ、十字の交差点になる予定です。信号についても、来年の設置を調整しています。

<座長>

- ・国道から右折で入るのが、少し心配ではありませんか。

<副会長>

- ・道路状況の調査を行いました。バイパスの交通量が増えており、反対に旧国道の交通量は減少しています。朝の通勤時間帯以外は混雑による支障はないと思います。

<委員>

- ・私もこの交差点を使いますが、現在のルートのような右折は見通しが悪いので、今回示されたルートの方が安全だと考えます。

<座長>

- ・質問やご意見がなければ、この協議は承認ということによろしいですか？

(異議を唱える声なし)

この協議を承認とさせていただきます。

協議事項④運行経路変更に伴うバス停の設置について

<事務局>

資料5に基づき説明。

<座長>

・協議事項②のとおり、新しいルートになるため、バス停を2箇所に変更するということです。公安の事前確認は済んでいるということで、質問等がなければこの協議は承認ということでよろしいですか。

(異議を唱える声なし)

この協議を承認とさせていただきます。

協議事項⑤生活交通ネットワークの変更について

<事務局>

資料6に基づき説明。

<委員>

・変更の日付は10月1日付けでいいと思います。土、日をはさみますので、運行開始を10月3日ということで考えて下さい。

<委員>

・白須賀新居鷺津線の金額に、変更がないのはどうしてか。

<事務局>

・運行経路が変更するということで、変更の表示をさせて頂きました。

<座長>

・他に質問等なければ、この協議は承認ということでよろしいですか。

(異議を唱える声なし)

この協議を承認とさせていただきます。

6 その他

<事務局>

・8/1付けで社会福祉協議会から、地域福祉懇談会で出たコーちゃんバスのご意見をいただいたことをご報告いたします。この場で協議するのではなく、評価改善委員会などで協議させていただき結果報告させていただきたいと考えております。

<座長>

- ・どのような意見がありましたか。

<事務局>

- ・路線の乗り継ぎが悪い、バス停設置要望、ダイヤ、ルートに関する要望等です。

<委員>

- ・地域ごとにバスへの要望があったが、事務局への要望は、地域の人を声を細かく聞いてほしいということです。今回はそのような意味も含めて、意見書を提出させて頂きました。

<座長>

- ・評価委員会も含めて、地域の皆様と話す機会を増やさなくてはなりませんね。

<事務局>

- ・次回の会議は、10月中旬を予定しております。予定の調整をお願い申し上げます。

<委員>

- ・バススタンプラリーの結果は、10月に報告されるのでしょうか。

<事務局>

- ・10月に報告させて頂きます。

<座長>

- ・何人乗ったかというだけではなく、利用した方、参加した方の意見を聞くといいと思います。

<委員>

- ・市民から聞いた意見を、この場で話し合う機会を設けられないか。この会議を承認するだけの場ではなく、もっと話し合うような形にできないか。

<事務局>

- ・この地域公共交通会議のあり方の話になるかと思います。本会議は意思決定機関です。地域活性化再生法に基づいた協議会であります。ここで承認いただいたことが、国土交通省や運輸局に提出され、そこに行き着くまでのプロセスは、下部組織であります評価改善委員会や、庁内分科会で住民意見を反映させるものであり、住民の噛み砕いた細かい意見についてまで、この地域公共交通会議で協議、お知らせする場ではないと考えております。

<委員>

- ・それは理解できるが、たとえば調査したデータ、市民の声などを示してもらえれば、この会議の場

でも判断がしやすいと思う。データが豊富なほど、判断をよりよくできるので、背景がよりわかるようにしてくればいいのかと思います。

<事務局>

・そうですね、今後、会議を開くときには皆様にご理解いただける資料を用意させていただきたいと思っています。

<座長>

・湖西の特徴としては、評価改善委員会など、他の機関があるということです。ここで大事なことは、ここで議論をするというより、情報が伝わるかということだと思います。

例えば、先ほどの社会福祉協議会からの意見は、「その他」で入れるのではなく、事前に皆様にお知らせして協議していくという姿勢が、さきほどの意見につながるのではないかと思います。

市民から「このような意見に基づいて判断した。」ということ、説明のときに報告することで、この会議の委員からも理解がいただけるのではないかと考えます。どのような対応があったのかということ、わかりやすく説明して下さい。

<委員>

・設置要綱を見ると、下部組織を設けることができるとあったが、その辺りの知識がない中で、会議が進んでしまっていたので、下部組織の協議の結果等を示してもらいたいと思います。

・スタンプラリーに関しても、数字だけじゃなくて、意見を貰ったらどうかという意見がありましたが、例えば、スタンプラリーの台紙にもコメントを頂くスペースがあったらよかったのではないかと思います。

<座長>

・他にご意見等なければ、事務局に進行をお返しします。

7 閉会

<事務局>

・以上をもちまして、平成 28 年度第 2 回湖西市地域公共交通会議を終了いたします。